



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月1日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
 コード番号 4410 URL [www.harima.co.jp](http://www.harima.co.jp)

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	71,799	8.6	3,752	19.6	3,589	25.5	2,217	46.3
2019年3月期	78,589	7.2	4,667	16.4	4,818	20.2	4,131	51.6

(注) 包括利益 2020年3月期 1,693百万円 (44.3%) 2019年3月期 3,043百万円 (7.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	87.67		6.3	5.0	5.2
2019年3月期	159.02		12.0	6.8	5.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 40百万円 2019年3月期 12百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	71,395	37,745	49.2	1,399.48
2019年3月期	72,870	37,811	48.5	1,378.35

(参考) 自己資本 2020年3月期 35,134百万円 2019年3月期 35,356百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	6,186	3,463	2,045	3,911
2019年3月期	4,179	5,035	580	3,289

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		17.00		19.00	36.00	929	22.6	2.7
2020年3月期		19.00		19.00	38.00	956	43.3	2.7
2021年3月期(予想)		19.00		19.00	38.00		70.7	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,500	6.7	650	71.0	650	71.7	450	71.0	17.92
通期	73,000	1.7	1,900	49.4	1,900	47.1	1,350	39.1	53.77

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	26,080,396 株	2019年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2020年3月期	974,643 株	2019年3月期	428,851 株
期中平均株式数	2020年3月期	25,294,471 株	2019年3月期	25,979,564 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,930	4.4	811	9.8	900	9.0	984	159.7
2019年3月期	3,064	0.8	899	1.9	990	15.1	379	78.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	38.93	
2019年3月期	14.60	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	35,257	25,555	72.5	1,017.93
2019年3月期	34,603	26,508	76.6	1,033.41

(参考) 自己資本 2020年3月期 25,555百万円 2019年3月期 26,508百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し(次期の業績の見通し)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(会計方針の変更) .....	15
(追加情報) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
参考資料 .....	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州は弱い回復となり、中国は米中貿易摩擦により緩やかに減速していました。

日本経済は、緩やかに回復していたものの、昨年10月よりの消費税増税により、輸出や設備投資、生産の一部に弱さが続いていました。

第4四半期に入り、世界経済、日本経済ともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに厳しい状況になっています。

このような中、当社グループは新中期経営計画『NEW HARIMA 2021』の初年度に当たり、更なる事業の成長に取り組んでおります。

当社グループの海外事業は、中国は堅調も、欧州および北米での販売数量の減少があり、売上高は前期に比べ減少しました。利益面では、売上高減少により、前期に比べて減少しました。

国内事業は、売上高、利益面とも前期に比べ減少しました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の連結業績は、売上高は717億9千9百万円となり、前期に比べ67億8千9百万円(△8.6%)の減収となりました。

利益面では、営業利益は37億5千2百万円となり、前期に比べ9億1千4百万円(△19.6%)の減益となりました。経常利益は35億8千9百万円となり、前期に比べ12億2千8百万円(△25.5%)の減益となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は22億1千7百万円となり、前期に連結子会社の繰延税金資産の追加計上に伴い、法人税等調整額(△は益)を△12億3千9百万円計上しましたが、当連結会計年度は追加計上がなかったため、前期に比べ19億1千3百万円(△46.3%)の減益となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	78,589	71,799	△6,789	△8.6
営業利益	4,667	3,752	△914	△19.6
経常利益	4,818	3,589	△1,228	△25.5
法人税等調整額	△1,239	49	1,289	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,131	2,217	△1,913	△46.3

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	20,309	18,188	△2,120	△10.4
営業利益	1,375	419	△956	△69.5

国内の印刷インキ業界の生産量は、前期に比べ減少しました。塗料業界の生産量は、前期に比べ減少しました。当部門では、印刷インキ用樹脂の販売減少や塗料用樹脂についても自然災害や消費税増税の影響によって販売が低迷したことで、前期に比べ売上高は減少しました。

また、営業利益につきましては、売上高減、主原材料価格の上昇により前期に比べ減少しました。

その結果、当部門の売上高は、181億8千8百万円となり、前期に比べ21億2千万円(△10.4%)の減収となりました。営業利益は4億1千9百万円と前期に比べ9億5千6百万円(△69.5%)の減益となりました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	19,949	18,928	△1,021	△5.1
営業利益	1,881	1,838	△43	△2.3

国内の製紙業界は、板紙および印刷情報用紙の需要がいずれも低迷し、紙・板紙生産量は、前期に比べ減少しました。中国の紙・板紙生産量は前期に比べ増加しましたが、米国の紙・板紙生産量は前期に比べ減少しました。

当部門の売上高は、中国が引き続き堅調に推移したものの、国内および米国は減少したため、前期に比べ減少しました。

その結果、当部門の売上高は、189億2千8百万円となり、前期に比べ10億2千1百万円(△5.1%)の減収となりました。営業利益は、18億3千8百万円と前期に比べ4千3百万円(△2.3%)の減益となりました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	5,737	5,297	△439	△7.7
営業利益	421	157	△263	△62.6

主に関連する自動車業界の生産台数は、前期に比べ国内は消費税増税の影響もあり減少しました。海外では欧州は環境規制前の駆け込み需要もあり微増、北米は景気減速で減少。中国は米中貿易摩擦と景気減速による影響で大幅減少となりました。

当部門の売上高は、前期に比べてソルダペーストの販売は増加しましたが、自動車熱交換器用のろう付け材料、半導体用機能性樹脂、導電性ペーストが大きく減少しました。また、新型コロナウイルス感染症による影響で中国での販売が減少しました。

その結果、当部門の売上高は、52億9千7百万円となり、前期に比べ4億3千9百万円(△7.7%)の減収となりました。営業利益は1億5千7百万円と前期に比べ2億6千3百万円(△62.6%)の減益となりました。

④ ローター

(単位：百万円)

	前連結会計年度(A)	当連結会計年度(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
売上高	30,979	27,655	△3,324	△10.7
営業利益	1,502	1,654	152	10.1

粘接着剤用樹脂の需要は堅調に推移しており、欧州および南米の販売が好調であったことから、販売数量は前期に比べ増加しました。

出版印刷インキ用樹脂は、情報のデジタル化を背景に世界的に需要が低迷しており、欧州と北米において販売が低調であったことから、販売数量は前期に比べ減少しました。

営業利益は、販売数量および売上高は減少したものの、商品構成の変化および製造原価の低減を主要因として、前期に比べて増加しました。

その結果、当部門の売上高は、276億5千5百万円で、前期に比べ33億2千4百万円(△10.7%)の減収となりました。

営業利益は16億5千4百万円と前期に比べ1億5千2百万円(10.1%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2019年3月末(A)	2020年3月末(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
流動資産合計	38,151	36,482	△1,669	△4.4
固定資産合計	34,718	34,912	193	0.6
資産合計	72,870	71,395	△1,475	△2.0
流動負債合計	28,528	26,567	△1,960	△6.9
固定負債合計	6,530	7,081	550	8.4
負債合計	35,059	33,649	△1,409	△4.0
純資産合計	37,811	37,745	△65	△0.2
負債純資産合計	72,870	71,395	△1,475	△2.0
自己資本比率	48.5	49.2	—	0.7

当連結会計期間末の総資産は前期末に比べ14億7千5百万円の減少となりました。自己資本比率は49.2%となりました。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が6億5千4百万円増加し、受取手形及び売掛金が39億5千万円減少、原材料及び貯蔵品が14億1千6百万円増加しました。投資その他の資産では投資有価証券が7億1百万円減少しました。負債では短期借入金を長期借入金に借換えたため、短期借入金が10億3千9百万円減少し、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が5億7千1百万円増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、61億8千6百万円の収入となりました。

これは主として、売上債権の減少額が37億6千7百万円や税金等調整前当期純利益が35億1千3百万円、減価償却費22億5千8百万円等、資金の収入が支出を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、34億6千3百万円の支出となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出が34億8千4百万円、無形固定資産の取得による支出1億7千7百万円等、資金の支出が収入を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、20億4千5百万円の支出となりました。

これは主として、長期借入れによる収入21億9千8百万円あったものの、配当金の支払額9億6千7百万円、長期借入金の返済による支出が15億9千4百万円、自己株式の取得による支出6億5百万円等により、資金の支出が収入を上回ったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	41.3	47.1	48.4	48.5	49.2
時価ベースの自己資本比率	19.7	30.2	30.3	36.2	39.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.6	2.5	6.1	4.4	2.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	12.9	22.9	8.9	15.2	20.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(注5) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2016年3月期～2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

#### (4) 今後の見通し

(新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループへの影響)

##### ①日本

非製造拠点においてはテレワークを基本とした勤務体制とし、製造拠点においては感染防止策を徹底し供給責任を果たすべく製造、出荷を継続しています。

##### ②中国

中国では1月末以降、操業に影響を受けましたが、2月中旬には、ほぼ通常通りの操業となりました。

##### ③マレーシア

マレーシアでは3月中旬以降製造を停止していましたが、4月23日に必須（必要不可欠な）事業に認定され操業を再開しました。

##### ④韓国

韓国の製造拠点は通常通り操業を継続しています。

##### ⑤米国

米国は電子材料事業を除く製造拠点は必須（必要不可欠な）事業に認定され操業を継続しています。

##### ⑥ベルギー

ベルギーの製造拠点は必須（必要不可欠な）事業に認定され、最小人員での操業を継続しています。

##### ⑦オランダ

オランダの製造拠点は必須（必要不可欠な）事業に認定され、最小人員での操業を継続しています。

##### ⑧ニュージーランド

ニュージーランドの製造拠点は必須（必要不可欠な）事業に認定され、最小人員での操業を継続しています。

##### ⑨チェコ

チェコの電子材料製造拠点は自主的に操業を停止しています。

##### ⑩ブラジル

ブラジルの製造拠点は操業を継続しています。

##### ⑪アルゼンチン

アルゼンチンは3月下旬以降操業を停止していましたが、4月13日に必須（必要不可欠な）事業に認定され操業を再開しました。

(次期の業績の見通し)

世界経済は、当面、新型コロナウイルス感染症の影響が続くと見込まれ、景気がさらに下振れするリスクがあります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があり、先行きが不透明な状況が続いています。日本経済においても、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれます。

このような環境下、通期の業績予想につきましては、売上高730億円、営業利益19億円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する当期純利益13億5千万円を計画しています。なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社連結業績への影響は、現時点での影響額を織り込んでおります。今後につきましては、業績予想への影響が分かり次第、業績予想の修正を発表いたします。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分につきましては、安定した配当を継続して実施するとともに、将来の積極的な事業展開に備えて内部留保の充実に努め経営基盤の強化を図ってまいります。

内部留保金につきましては、財務体質の強化、研究開発活動への投資、生産体制の整備充実などに活用してまいります。

株主の皆様に対する配当金につきましては、業績動向及び配当性向等を総合的に勘案して実施してまいります。

当期の期末配当につきましては、1株当たり19円を予定しております。中間配当金と合わせて年間38円となります。また、次期につきましては、中間配当19円に期末配当19円を加えた年間38円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,352,743	4,006,886
受取手形及び売掛金	21,524,707	17,574,117
商品及び製品	5,866,144	5,829,328
原材料及び貯蔵品	5,691,792	7,108,562
その他	1,818,394	2,054,815
貸倒引当金	△101,989	△91,054
流動資産合計	38,151,792	36,482,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,360,615	5,398,827
機械装置及び運搬具（純額）	6,493,139	6,621,357
土地	8,529,691	8,516,171
リース資産（純額）	434,809	390,005
建設仮勘定	456,329	1,257,653
その他（純額）	762,657	931,031
有形固定資産合計	22,037,242	23,115,046
無形固定資産		
その他	788,101	739,689
無形固定資産合計	788,101	739,689
投資その他の資産		
投資有価証券	9,596,758	8,894,986
繰延税金資産	1,414,039	1,328,410
その他	885,469	837,070
貸倒引当金	△2,710	△2,710
投資その他の資産合計	11,893,558	11,057,756
固定資産合計	34,718,902	34,912,492
資産合計	72,870,694	71,395,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,019,773	8,863,043
短期借入金	13,423,323	12,384,064
1年内返済予定の長期借入金	1,614,525	1,327,939
リース債務	73,182	72,468
未払法人税等	674,088	494,699
役員賞与引当金	87,320	81,730
その他	3,636,520	3,344,027
流動負債合計	28,528,733	26,567,973
固定負債		
長期借入金	2,393,288	3,251,090
リース債務	952,183	870,119
繰延税金負債	844,245	625,006
長期預り保証金	684,031	582,681
役員退職慰労引当金	447,241	487,135
退職給付に係る負債	954,360	996,831
資産除去債務	48,985	48,985
その他	206,189	219,453
固定負債合計	6,530,524	7,081,302
負債合計	35,059,257	33,649,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,767,753	9,767,709
利益剰余金	16,949,929	18,200,536
自己株式	△422,482	△1,028,030
株主資本合計	36,308,150	36,953,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,234,378	871,590
為替換算調整勘定	△2,019,448	△2,439,491
退職給付に係る調整累計額	△166,206	△250,278
その他の包括利益累計額合計	△951,276	△1,818,180
非支配株主持分	2,454,562	2,610,886
純資産合計	37,811,436	37,745,872
負債純資産合計	72,870,694	71,395,148

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
売上高	78,589,084	71,799,094
売上原価	59,461,302	53,842,884
売上総利益	19,127,782	17,956,209
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	3,709,176	3,600,320
役員賞与引当金繰入額	87,320	81,730
役員退職慰労引当金繰入額	42,734	46,194
退職給付費用	258,365	214,750
その他の人件費	821,339	823,391
運搬費	3,463,761	3,465,218
減価償却費	248,356	297,521
貸倒引当金繰入額	7,486	6,002
研究開発費	2,594,502	2,634,940
その他	3,227,422	3,033,307
販売費及び一般管理費合計	14,460,465	14,203,376
営業利益	4,667,316	3,752,833
営業外収益		
受取利息	46,648	51,844
受取配当金	216,358	95,225
不動産賃貸料	117,102	38,525
為替差益	208,422	—
保険解約返戻金	—	58,620
その他	120,095	126,845
営業外収益合計	708,627	371,062
営業外費用		
支払利息	275,026	291,957
支払手数料	16,055	9,174
為替差損	—	111,902
インフレ会計修正損	125,243	—
持分法による投資損失	12,671	40,170
その他	128,239	80,979
営業外費用合計	557,236	534,183
経常利益	4,818,707	3,589,711
特別損失		
固定資産解体撤去費	64,536	—
減損損失	270,200	76,000
特別損失合計	334,736	76,000
税金等調整前当期純利益	4,483,971	3,513,711
法人税、住民税及び事業税	1,201,230	838,414
法人税等調整額	△1,239,909	49,344
法人税等合計	△38,679	887,759
当期純利益	4,522,650	2,625,952
非支配株主に帰属する当期純利益	391,360	408,297
親会社株主に帰属する当期純利益	4,131,290	2,217,654

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,522,650	2,625,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△444,840	△362,765
為替換算調整勘定	△1,042,463	△484,357
退職給付に係る調整額	7,875	△84,908
持分法適用会社に対する持分相当額	△37	△22
その他の包括利益合計	△1,479,465	△932,053
包括利益	3,043,184	1,693,898
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,784,416	1,350,751
非支配株主に係る包括利益	258,768	343,147

(3)連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,012,951	9,767,449	13,573,352	△26,314	33,327,438
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△754,714	—	△754,714
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	4,131,290	—	4,131,290
自己株式の取得	—	—	—	△396,168	△396,168
連結子会社の増資による持分の増減	—	△9	—	—	△9
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	313	—	—	313
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	303	3,376,576	△396,168	2,980,711
当期末残高	10,012,951	9,767,753	16,949,929	△422,482	36,308,150

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,679,256	△1,109,705	△173,953	395,597	2,374,780	36,097,816
当期変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△754,714
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	4,131,290
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△396,168
連結子会社の増資による持分の増減	—	—	—	—	—	△9
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—	313
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△444,878	△909,742	7,746	△1,346,873	79,782	△1,267,091
当期変動額合計	△444,878	△909,742	7,746	△1,346,873	79,782	1,713,620
当期末残高	1,234,378	△2,019,448	△166,206	△951,276	2,454,562	37,811,436

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,012,951	9,767,753	16,949,929	△422,482	36,308,150
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△967,047	—	△967,047
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,217,654	—	2,217,654
自己株式の取得	—	—	—	△605,547	△605,547
連結子会社の増資による持分の増減	—	△44	—	—	△44
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△44	1,250,607	△605,547	645,015
当期末残高	10,012,951	9,767,709	18,200,536	△1,028,030	36,953,166

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,234,378	△2,019,448	△166,206	△951,276	2,454,562	37,811,436
当期変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△967,047
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	2,217,654
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△605,547
連結子会社の増資による持分の増減	—	—	—	—	—	△44
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△362,788	△420,043	△84,071	△866,903	156,323	△710,579
当期変動額合計	△362,788	△420,043	△84,071	△866,903	156,323	△65,563
当期末残高	871,590	△2,439,491	△250,278	△1,818,180	2,610,886	37,745,872

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,483,971	3,513,711
減価償却費	2,031,077	2,258,460
減損損失	270,200	76,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,510	△5,590
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	42,734	39,894
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,074	△7,416
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△38,964	△54,610
受取利息及び受取配当金	△263,006	△147,069
支払利息	275,026	291,957
為替差損益 (△は益)	△227,092	100,614
インフレ会計修正損	125,243	—
持分法による投資損益 (△は益)	12,671	40,170
有形固定資産除却損	9,305	26,352
有形固定資産売却損益 (△は益)	△10,340	△8,682
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,605,536	3,767,203
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△196,641	△1,492,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	311,289	△88,719
その他	△83,704	△958,844
小計	5,141,669	7,350,985
利息及び配当金の受取額	272,596	156,616
利息の支払額	△275,270	△296,570
法人税等の支払額	△959,535	△1,024,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,179,459	6,186,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,528,734	△3,484,479
有形固定資産の売却による収入	68,446	35,580
無形固定資産の取得による支出	△49,581	△177,319
投資有価証券の取得による支出	△2,595,130	△4,038
投資有価証券の売却による収入	100,295	36,677
その他	△30,365	130,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,035,069	△3,463,407
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,941,351	△753,654
長期借入れによる収入	1,706,137	2,198,342
長期借入金の返済による支出	△2,682,021	△1,594,264
配当金の支払額	△754,714	△967,047
非支配株主への配当金の支払額	△107,489	△161,466
リース債務の返済による支出	△74,348	△72,958
預り保証金の返還による支出	△52,066	△88,831
自己株式の取得による支出	△396,168	△605,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	580,681	△2,045,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95,783	△56,076
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△370,711	621,855
現金及び現金同等物の期首残高	3,659,952	3,289,240
現金及び現金同等物の期末残高	3,289,240	3,911,095



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっているものであります。

当社は、カンパニー制を導入しており、各カンパニーは取り扱う製品等について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。なお、「樹脂化成品事業」、「製紙用薬品事業」、「電子材料事業」、「ローター」を報告セグメントとしております。

「樹脂化成品事業」は塗料用樹脂、印刷インキ用樹脂、トール油製品、合成ゴム乳化剤の製造販売を行っております。「製紙用薬品事業」は紙力増強剤、サイズ剤、表面塗工剤の製造販売を行っております。「電子材料事業」は電子材料の製造販売を行っております。「ローター」は印刷インキ用樹脂、粘接着剤用樹脂の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	20,309,261	19,949,678	5,737,474	30,979,763	76,976,177	1,580,174	78,556,352	32,732	78,589,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,717	119,769	—	148,404	477,891	117,684	595,576	△595,576	—
計	20,518,978	20,069,447	5,737,474	31,128,168	77,454,069	1,697,859	79,151,928	△562,843	78,589,084
セグメント利益 又は損失(△)	1,375,522	1,881,802	421,391	1,502,683	5,181,399	△48,997	5,132,402	△465,085	4,667,316
減価償却費	675,685	665,862	146,680	428,078	1,916,306	114,771	2,031,077	—	2,031,077
受取利息及び支払利息	△8,797	△6,197	△1,059	△141,797	△157,852	△3,856	△161,708	△66,670	△228,378
持分法投資損失	—	—	—	△32,438	△32,438	—	△32,438	19,767	△12,671

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額90,886千円、各報告セグメントに配分していない全社損益△620,401千円等が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため各セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	18,188,348	18,928,383	5,297,842	27,655,267	70,069,843	1,726,122	71,795,965	3,129	71,799,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,312	47,374	—	38,185	294,872	181,147	476,020	△476,020	—
計	18,397,661	18,975,758	5,297,842	27,693,453	70,364,715	1,907,269	72,271,985	△472,890	71,799,094
セグメント利益	419,073	1,838,722	157,554	1,654,694	4,070,045	140,461	4,210,506	△457,673	3,752,833
減価償却費	765,988	745,405	163,522	451,403	2,126,320	132,140	2,258,460	—	2,258,460
受取利息及び支払利息	△5,301	△6,134	△813	△155,506	△167,756	△3,701	△171,457	△68,655	△240,112
持分法投資損失	—	—	—	△50,741	△50,741	—	△50,741	10,570	△40,170

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額103,957千円、各報告セグメントに配分していない全社損益△579,229千円等が含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため各セグメントに配分しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,378円35円銭	1,399円48銭
1株当たり当期純利益金額	159円02円銭	87円67銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,131,290	2,217,654
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	4,131,290	2,217,654
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,979	25,294

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2020年3月期 決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2020/3期		2021/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(計画)	通期(計画)
連結	17.8億円	36.8億円	12.0億円	25.0億円

2. 減価償却実施額

	2020/3期		2021/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(計画)	通期(計画)
連結	10.6億円	22.5億円	12.0億円	23.0億円

3. セグメント別売上高

	2020/3期		2021/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(計画)	通期(計画)
樹脂化成品	94.2億円	181.8億円	87.0億円	178.0億円
製紙用薬品	93.7億円	189.2億円	94.0億円	197.0億円
電子材料	27.4億円	52.9億円	27.0億円	61.0億円
ローター	145.1億円	276.5億円	127.0億円	278.0億円
その他	8.7億円	17.2億円	8.0億円	16.0億円
調整額	0.5億円	0.0億円	0.0億円	-
合計	369.8億円	717.9億円	345.0億円	730.0億円

4. 海外売上高

	2019/3期		2020/3期	
	通期(実績)		通期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	152.9億円	19.5%	139.9億円	19.5%
欧州	150.5億円	19.2%	125.5億円	17.5%
アジア、オセアニア	157.0億円	19.9%	140.5億円	19.6%
合計	460.4億円	58.6%	406.0億円	56.6%